

From  
Doctor

市民病院の医師が  
皆さんの病気の不安に答えます！

問い合わせ  
市民病院管理課  
☎ 57-0051



市民病院  
消化器内科  
ホームページ

A. Q.

脂肪肝って何？

脂肪肝は、肝臓に脂肪が多くなってきた状態のことを言います。



脂肪肝は重症化することがないと考えられていましたが、実は知らないうちに、肝硬変や肝がんに行進している場合もあることが明らかになってきました。

アルコールを飲まないのに  
脂肪肝になるの？

近年、あまりお酒を飲まないのに、食べすぎ、運動不足、肥満などが原因で起こる「非アルコール性脂肪性肝疾患」が急増しています。

「非アルコール性脂肪性肝疾患」の方は、国内で1500万から2000万人いると言われており、このうち、肝硬変や肝がんに至る可能性のある脂肪性肝炎の方が10〜20%を占めています。

肝臓の病気は、黄疸などの目に見える症状が出た時にはかなり進行して手遅れということもしばしばあります。定期的に検査を受けて早期に肝臓の異変に気付けるかが重要です。

A. Q.

脂肪性肝炎は

どのように診断するの？

市民病院では、痛みがなく肝臓の硬さや脂肪化の程度を測定できる肝硬度測定器で検査、診断しています。

脂肪性肝炎は、肝生検といって、肝臓に細い針を刺して組織の一部を採取し、顕微鏡で観察して診断するのが一般的ですが、肝硬度測定器を用いることで、患者さんに針を刺さずに、痛みがない検査を実施できるようになり、脂肪性肝炎の早期発見につながっています。

脂肪肝が疑われている方、最近体重が増えてきている方は、かかりつけ医に相談してください。



肝硬度測定器（フィブロスキャン）による検査の様子

振動と超音波によって肝臓の硬さや脂肪化の程度を測定・数値化し、肝臓疾患を早期に発見することができます。

Interview



市民病院副院長  
消化器内科  
祖父江 聡

市民病院では令和3年3月から、肝硬変や肝がんに進展するリスクの高い脂肪肝を拾い上げ、重点的に治療を行う、『脂肪肝囲い込みプロジェクト』を開始しています。脂肪肝の治療に特效薬はありません。地域のかかりつけ医と連携して、定期的な受診による経過観察を行うとともに、他の診療科と協力して栄養指導や適度な運動などの生活改善をしていき、脂肪肝による病気の予防や早期発見・早期治療へとつなげます。